

クオリティ・オブ・ライフ

～ お客様にとっての思い出が、メディホスに刻まれる ～

STORY 1

もう一度、あのイルカたちに会いたくて

女性 58歳 要介護3 筋ジストロフィー

水族館のイルカの名前を憶えているほどイルカが大好きなK様。病気が進行してから外出が難しくなり水族館に行くことを諦めていらっしゃいました。それでもテレビに映るイルカを見つけると目を輝かせ、熱心に語ってくださる姿に、私たちの心が動かされました。「もう一度イルカに会いたい」その想いを形にするべく多職種が連携し調整を重ね、体調に配慮しながら水族館旅行が実現しました。当日水族館のあの静かな青い世界へと足を踏み入れた時のK様の表情は言葉では尽くせぬほどの喜びと感動に満ちあふれ、イルカと再会した瞬間のあの笑顔は、私たちスタッフにとっても忘れられない感動となりました。



STORY 2

音楽が紡いだ心の絆

女性 89歳 要介護5 癌末期

かつて海外を舞台に活躍され、語学にも秀でていらっしゃったO様。その豊かなご経験と感性を活かし、施設内でのリサイタル開催をご提案くださいました。皆様が心から楽しめるよう、選曲から衣装の準備に至るまで細部にわたり心を配られ、毎日お部屋で練習を重ねられる姿は、まるで一つの舞台を創り上げる情熱そのものでした。O様の体調を最優先に考えながら迎えた本番当日、お化粧品も美しく整えられ、晴れやかな笑顔でステージに臨まれるその姿は、まさに輝きに満ちていました。ご家族様もご参加くださり、普段は数分しか座位を保つことが難しかったO様が、リサイタル中1時間もの間、車椅子に凛とした姿勢で座っておられました。その姿には、言葉では表せない力強さと誇りが宿っており、私たちスタッフも胸が熱くなりました。このリサイタルをきっかけに、メディホス鎌倉ではご入居者様同士の交流が自然と生まれました。音楽が繋いだ心と心の物語は今も私たちの記憶に深く刻まれています。



メディホスの事業は

感動を届けるホスピタリティです



実父が大腸癌の末期と診断された後、メディホスにお世話になりました。

入居時、「生前葬のような集まりを開きたい」と相談したところ、施設の方々はもちろん、給食会社の皆様も快く協力してくださり、食堂で心温まる会を開催することができました。たくさんの方々が集まってくれて、父も私たち家族も幸せな時間を過ごすことができました。この忘れられないひときは、メディホスの手厚いホスピタリティがあっこそ。深く感謝しています。